2027年3月開催セミナー
協賛企画書

日経 XTECH

データ活用の分散状態から、AIが理解できる統合データ基盤への進化

AIドリブン経営のための データ活用Summit 2027 Spring

AIが理解できるデータを、企業の意思決定と事業成長の力へ



収集・接続
標準化・構造化
意味付け・統合
ガバナンス・信頼性



高度な分析
予測・最適化

生成AI活用
業務改革

意思決定の高度化
事業成長の加速

AI-Readyなデータ統合、もう待てない

AI活用をPoCで終わらせないために

オンラインセミナー
B2B企業の経営層・データ責任者・DX/ITリーダー向け

分散・サイロ化したデータ
機会損失・リスク増大

統合データ基盤への進化
信頼できるデータの一元化

AIが理解し、活用する未来へ
価値創出・競争優位の確立

日経BP

Ver.1.0

CONCEPT

企画趣旨

「人が使えるデータ」から「AIが理解し、行動できるデータ」へ
データの統合・品質・意味を整え、AI活用を事業成果につなげる

生成AIの活用は、情報検索や文書作成の支援から、企業内外の情報を参照・判断し、業務を実行するAIエージェントの段階へ進みつつあります。企業競争力を左右するのはAIモデルの性能だけではなく、参照するデータの正確性、鮮度、利用可能性、業務上の意味や関係性です。

一方、多くの企業では、データの分散、定義や品質の不統一、非構造化データの未活用、権限やガバナンスの未整備といった課題が残っています。生成AIやRAGを導入してもPoCから全社展開へ進めない背景には、AIが活用できるデータ基盤と、データに意味を与えるコンテキストの不足があります。

求められているのは、企業内外のデータを集め、つなぎ、信頼できる状態に整えるだけではありません。データに意味や業務上の文脈を与え、AIが正しく理解できる状態にしたうえで、業務で使える仕組みとして実装し、分析・意思決定や事業成果につなげることです。

「AIドリブン経営のためのデータ活用Summit 2027 Spring」では、データを整える、意味を与える、実装する、成果につなげるという一連の流れを通じて、AIドリブン経営の実現に必要な最新技術、先進企業の実践事例、導入・運用の知見を紹介します。

本Summitは、データ基盤の整備から、データの意味付け、AI・データ活用の仕組みづくり、経営・業務への展開までを支援する企業様にとって、データ・AI戦略を担う意思決定者や実務担当者に、自社の価値と実践知を訴求する機会となります。ぜひ本企画への協賛をご検討ください。

OVERVIEW

AIドリブン経営のためのデータ活用Summit 2027 Spring 開催概要

日　　時:	2027年3月4日(木)、5日(金)　2日間開催
主　　催:	日経クロステック
協　　力:	日経クロステック Active
形　　式:	オンライン（Live配信型webセミナー）
規　　模:	事前登録者数 想定500名
受 講 料 :	無料（事前登録制）
受講対象:	企業のIT部門や経営企画部門、DX推進・データ活用推進部門など
集客方法:	日経BPが保有する経営・IT関連媒体の読者DBなどを活用
ご協賛社:	12社～16社（想定）

WHY NOW

AI活用は「使う」から「任せ、動かす」へ

出典 日経BP「AIリーダーズ100／AIリーダーズ会議2026 Spring」

競争力は、企業固有のデータを使える状態にできるかどうかで決まる

280億件

トライアルが現場で活用する購買データ

日経クロステック 2026.2.10「トライアルの強さは分析基盤、280億件『AI-Readyデータ』を現場で活用」

40～50

AMEBAで協働するAIエージェント数

約100人

AMEBAでの業務代替量

日経クロステック 2026.10.14 Claude拡大の理由「ミスなし」評価のサイバー、メルカリは統制基盤に信頼



WHY NOW

なぜ、企業データは爆発するのか

量だけでない。種類・更新頻度・複製・コンテキストが同時に増え、AI利用がさらに増幅させる

01

接点が増える

SaaS、IoT、カメラログ、
会話、外部データ。
業務のデジタル化が
新たなデータ源を生む

02

非構造化が主役に

文章、メール、音声、
画像、動画。
AIが扱う対象は表形式
データを大きく超える

03

AIが再生成する

要約、特徴量、埋め込み、
合成データ、エージェント
履歴が新たな派生データ
になる

04

版・意味・権限が増える

最新版、用語定義、
利用目的、アクセス
権など、リネージを
管理しないとAIは
誤った判断をする

日経クロステック 「AIデータ設計」「データマネジメント」関連記事をもとに構成

WHY NOW

データ活用の総コストは「見える費用」だけではない

収集・整備・合意形成・ガバナンス・運用・手戻りまで含めたTCOで捉える

「データ整備を後回し」にすると、後工程での手戻りと現場負荷が増え、コストが膨らむ



▼見えるコスト

クラウド、ストレージ、DWH、BI、AI基盤、ライセンス

▼見えにくいコスト

- データ探索・収集・契約
- クレンジング・名寄せ・ラベリング
- 部門間の定義調整・合意形成
- 権限・法務・セキュリティ審査
- メタデータ・リネージ・版管理
- 品質監視・再処理・手戻り

出典　日経クロステック「データ整備を後回しにすると『後戻りできない』状態に」「効果が出ない・現場が疲弊の回避策」ほか

WHY NOW

日本企業は、すでに「部分最適」から動き始めている

共通するのは、データ基盤だけでなく、共有・標準化・統制・現場実装を同時に進めていること

トライアルHD

基盤×現場

店舗・購買データをリアルタイム取得し、280億件を
分析・共有。現場の施策更新へ

古河電工

標準化×製造

分断した製造データをつなぐ基盤を構築。
MES標準化を軸にAI活用

サイバーエージェント

エージェント×内製

40～50のAIエージェントが約100人月を代替。
現場担当者が構築できる基盤へ

メルカリ

統制×全社展開

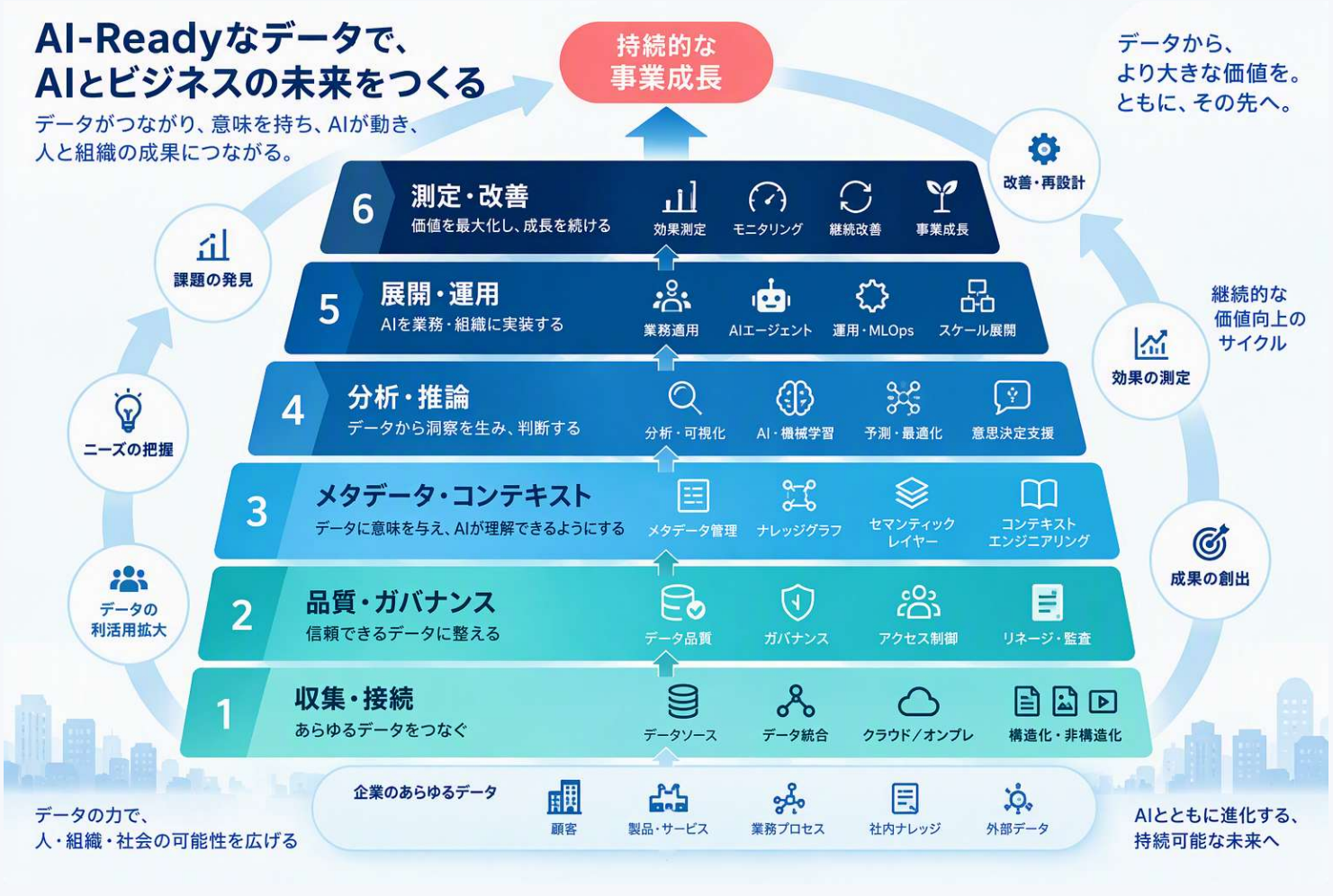
全社展開を支える統制基盤への信頼を重視し、
生成AI利用を組織へ定着

▷▷ 収集・統合 → 品質・標準化 → コンテキスト・統制 → 現場・経営での継続利用

出典　日経クロステック

WHAT IS REQUIRED

いま求められるのは「6層をつなぐ」AI-Readyデータ経営



FROM ISSUE TO SUMMIT

データ基盤の整備だけでは、AI活用は成果につながらない

①収集・統合、②品質・ガバナンス、③意味・コンテキスト、④分析・判断、⑤開発・実装、⑥運用・改善を一つの価値創出サイクルとして捉え、経営層・IT部門・事業部門が共通の指標で動くことが求められています

そこで日経クロステックでは、従来の「データサイエンティスト・ジャパン」「データ活用実践フォーラム」「AI駆動開発」「AI-Readyデータ基盤構築」など、テーマ別に展開してきた各種のセミナーを統合。AIが理解・判断・実行できるデータを事業成果までつなげる場として、新たに「AIドリブン経営のためのデータ活用Summit」を企画します

本Summitでは①～⑥の内容を4つのテーマに再構成

02 中身をつくる

Context & Knowledge Engineering

セマンティックレイヤー、ナレッジグラフ・オントロジー、データリネージ、コンテキストエンジニアリング、RAG最適化、エージェント向けコンテキスト管理など

03 開発・実装する

AI-Driven Engineering

データプロダクト・API、RAG・AIエージェント開発、MCP・システム連携、AIハーネス・エージェントオーケストレーション、AIゲートウェイ・ガードレール、MLOps・LLMOps、AI評価・監視など

04 活用する

AI Intelligence & Data-Driven Management

BI・可視化、データ分析・AI、予測・最適化、AIエージェントによる分析、意思決定支援、データドリブン経営、データ人材・組織など

01 基盤をつくる

AI-Ready Data Foundation

データ統合・ETL／ELT、DWH・データレイク、データ品質、データカタログ、オーケストレーション基盤（データハーネス）、DSPM・DLP・機密データ保護など

TRACKS

Summitを構成する4つのテーマ ～AI-Readyなデータをつくる、活かす、事業成長につなげる

	▼主な対象分野
【1】基盤をつくる データを安全に集め、つなぎ、信頼できる状態に整える	データ統合・ETL／ELT、DWH・データレイク、データ品質、データカタログ、データ統合・オーケストレーション基盤（データハーネス）、非構造化・AI学習データ整備、DSPM・DLP・機密データ保護など
【2】中身をつくる データに意味、関係性、業務上の文脈を与える	セマンティックレイヤー、ナレッジグラフ・オントロジー、用語・マスタ管理、データリネージ、コンテキストエンジニアリング、RAG最適化、エージェント向けコンテキスト管理など
【3】開発・実装する AI-Readyなデータを、安全に制御しながら業務で動く仕組みとして実装する　＜AI駆動開発＞	データプロダクト・API、RAG・AIエージェント開発、MCP・システム連携、AIハーネス・エージェントオーケストレーション、AIゲートウェイ・ガードレール、MLOps・LLMOps、AI評価・監視など
【4】活用する データから洞察と判断を生み、経営・業務の成果につなげる	BI・可視化、データ分析・AI、予測・最適化、AIエージェントによる分析、意思決定支援、データドリブン経営、データ人材・組織など

PROGRAM

プログラム（予定）

●4つのテーマ講演
【1】基盤をつくる
【2】内容をつくる
【3】開発・実装する
【4】活用する

＋

●日経クロステック編集部によるSpecialセッション
1日目：トレンド解説＋「データに意味を与えるための3つの勘どころ」
2日目：トレンド解説＋「埋もれたデータをAI-Readyに変えるための処方箋」

協賛社講演が12枠の場合

＜1日目＞

時間	講演内容
13:00-13:30	【1】主催者講演
13:35-14:05	【1】協賛社講演①
14:10-14:40	【1】協賛社講演②
14:45-15:15	【1】協賛社講演③
15:20-15:50	【2】主催者講演
15:55-16:25	【2】協賛社講演④
16:30-17:00	【2】協賛社講演⑤
17:05-17:35	【2】協賛社講演⑥
17:40-18:00	Specialセッション1

＜2日目＞

時間	講演内容
13:00-13:30	【3】主催者講演
13:35-14:05	【3】協賛社講演①
14:10-14:40	【3】協賛社講演②
14:45-15:15	【3】協賛社講演③
15:20-15:50	【4】主催者講演
15:55-16:25	【4】協賛社講演④
16:30-17:00	【4】協賛社講演⑤
17:05-17:35	【4】協賛社講演⑥
17:40-18:00	Specialセッション2

協賛社講演が16枠の場合

＜1日目＞

時間	講演内容
10:00-10:30	【1】主催者講演
10:35-11:05	【1】協賛社講演①
11:10-11:40	【1】協賛社講演②
休憩	
12:40-13:10	【1】協賛社講演③
13:15-13:45	【1】協賛社講演④
13:50-14:20	【2】主催者講演
14:25-14:55	【2】協賛社講演⑤
15:00-15:30	【2】協賛社講演⑥
15:35-16:05	【2】協賛社講演⑦
16:10-16:40	【2】協賛社講演⑧
16:45-17:05	Specialセッション1

＜2日目＞

時間	講演内容
10:00-10:30	【3】主催者講演
10:35-11:05	【3】協賛社講演①
11:10-11:40	【3】協賛社講演②
休憩	
12:40-13:10	【3】協賛社講演③
13:15-13:45	【3】協賛社講演④
13:50-14:20	【4】主催者講演
14:25-14:55	【4】協賛社講演⑤
15:00-15:30	【4】協賛社講演⑥
15:35-16:05	【4】協賛社講演⑦
16:10-16:40	【4】主催者講演⑧
16:45-17:05	Specialセッション2

※ プログラムと講演タイトル、テーマごとの開催日・セッション数・組み合わせは2026年11月時点の予定です。
予告なく変更させていただくことがあります。予めご了承ください

ご協賛プラン

本ページに記載の金額は税抜です。プランは変更になる場合があります。予めご了承ください

1. 30分の講演枠を1枠ご提供

- 開催日に都内会場にお越しいただきLIVE配信を予定しています。リモートでのご講演は対応できかねます
- 事前収録をご希望の場合には、オプション（ネット40万円）で承ります。詳細は担当営業にお問い合わせください

2. 事前登録者リストのご提供（500件想定）

- 受講申込の開始後に協賛が決定した場合は、パーミッション文に社名を明示した時点以降の登録者がお渡しするリストの対象となります
- 貴社講演の個別視聴フラグをご希望の場合は、オプション（ネット10万円）で承ります。協賛申込時に併せて申込ください

3. 講演採録レビュー記事広告の掲載（日経クロステック・タイアップにて 2027年4月～5月を予定）

4. 個別アンケートの実施（任意）

5. 講演資料やカタログなどのダウンロード資料（任意）

- PDF資料、合計2点まで。1点につき20MB以内

6. 貴社講演パートを動画素材としてご提供

- 貴社の宣伝販促プロモーションにご活用いただけます（データのダウンロード配布は禁止です。ご注意ください）
- 提供する動画には、「日経クロステック PR Special」のクレジットが入ります

キャンセル規定

協賛のお申込み後にキャンセルされる場合には、協賛料金の全額を申し受けます

ご協賛料金：300万円

CF動画協賛プラン

本ページに記載の金額は税抜です。プランは変更になる場合があります。予めご了承ください

1. イベント中のCF動画配信枠(15秒～30秒)を1枠ご提供

- CF動画を配信する時間帯は主催者で決定させていただきます

2. 事前登録者リストのご提供（500件想定）

- 受講申込の開始後に協賛が決定した場合は、パーミッション文に社名を明示した時点以降の登録者がお渡しするリストの対象となります

3. カタログやパンフレットなどのダウンロード資料（任意）

- PDF資料、合計2点まで。1点につき20MB以内

★本メニューは1社様限定のメニューとなります

キャンセル規定

協賛のお申込み後にキャンセルされる場合には、協賛料金の全額を申し受けます

ご協賛料金：300万円

PRIVACY POLICY

個人情報の取り扱いに関するルール

日経BPの個人情報保護方針/個人情報の取扱いについて http://corporate.nikkeibp.co.jp/info/privacy/

日経BPでは、顧客情報の提供にあたり、以下の内容を遵守していただくことを前提といたします。
是非、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

1.顧客情報の範囲
提供する顧客情報は、「氏名」「勤務先会社名」「勤務先部署名・役職名」「勤務先郵便番号」「勤務先(または自宅)住所」「勤務先(または自宅)電話番号」「電子メールアドレス」「業種など」の登録された情報のなかで貴社が希望する項目とします。「業種など」はイベント単位で異なる場合がありますので、事前に担当者までお問い合わせください。

2.顧客情報の提供方法
顧客情報は「日経BP社 リードジェン支援システム」を使用してご提供いたします。データの取得方法などは貴社ご担当者様宛に弊社からメールでご案内いたします。
問い合わせ先:日経BP社 リード・サポートセンター(E-mail:lgsc10@nikkeibp.co.jp)

3.顧客情報の利用目的
提供した顧客情報は、その元となった貴社主催または協賛セミナーの内容に関連した、貴社製品/サービスのご案内に限定してご利用ください。

4.顧客情報の利用方法
提供した顧客情報を元に、最初に顧客に連絡を取る際には、「提供した顧客情報の元となった貴社主催または協賛のイベント名」「貴社名」「貴社の連絡先」「顧客情報の変更・削除および情報提供停止の方法」を必ず明示してください。

5.提供した顧客情報の管理責任について
提供した顧客情報は「個人情報の保護に関する法律」などに基づいて貴社の責任において管理・運用願います。
万が一、事故などで顧客または貴社に損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねます。

SCHEDULE

スケジュール / 問い合わせ先

※スケジュールは2026年11月時点の予定です。変更になる場合があります。予めご了承ください

1月下旬　ご協賛申込締切
2月上旬　告知・受講登録開始
3月4日・5日　セミナー開催
3月12日ころ　事前登録者リストご提供
3月下旬　開催報告書ご提供
4月～5月　日経クロステック・タイアップにて採録レビュー掲載

＜お問い合わせ＞
日経BP　アカウントビジネス部
Email: c-ad@nikkeibp.co.jp / TEL: 03-6811-8025

APPENDIX

開催実績 ： 2026年8月「AI-Readyデータ基盤構築術」①

--- 視聴者アンケート結果 ---

あなたの会社は「AI-Ready」？
最大の難関「データ環境づくり」解決法

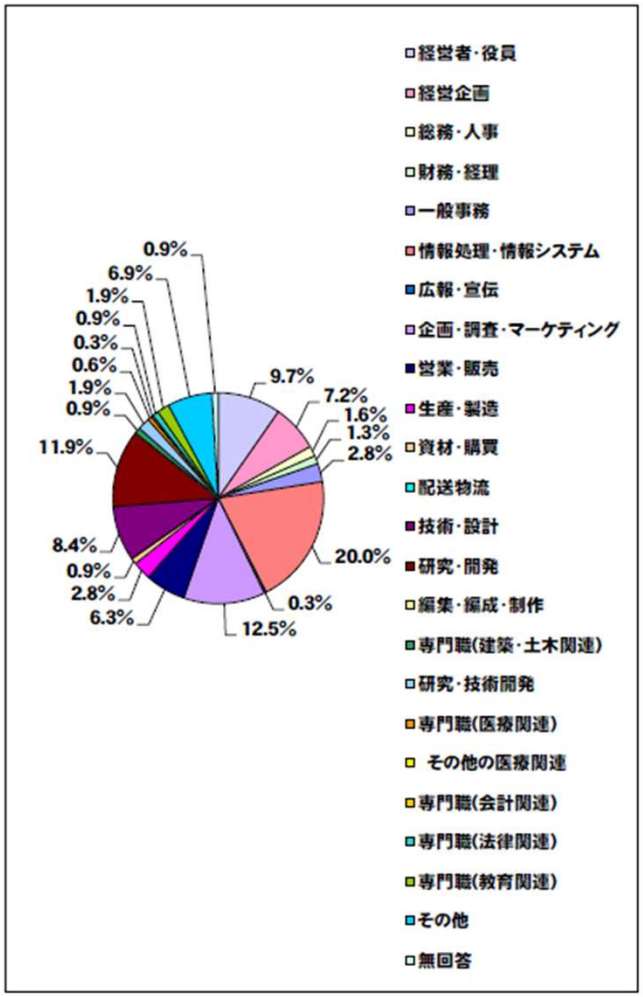
【 開 催 概 要 】

日　　時	2026年8月25日(火) 13:00～17:35
会　　場	オンライン(ライブ配信型 Webセミナー)
主　　催	日経クロステック Active
協　　賛	アステリア、Cloudera、Confluent Japan、データ・アプリケーション、Everpure(ピュア・ストレージ・ジャパン) (ABC順)
受 講 料	無料(事前登録制)
視 聴 者	320名（事前登録者：497名）

▼職種

	件数	%
経営者・役員	31	9.7%
経営企画	23	7.2%
総務・人事	5	1.6%
財務・経理	4	1.3%
一般事務	9	2.8%
情報処理・情報システム	64	20.0%
広報・宣伝	1	0.3%
企画・調査・マーケティング	40	12.5%
営業・販売	20	6.3%
生産・製造	9	2.8%
資材・購買	3	0.9%
配送物流	0	0.0%
技術・設計	27	8.4%
研究・開発	38	11.9%
編集・編成・制作	0	0.0%
専門職(建築・土木関連)	3	0.9%
研究・技術開発	6	1.9%
専門職(医療関連)	2	0.6%
その他の医療関連	0	0.0%
専門職(会計関連)	1	0.3%
専門職(法律関連)	3	0.9%
専門職(教育関連)	6	1.9%
その他	22	6.9%
無回答	3	0.9%
合計	320	

(N= 320)



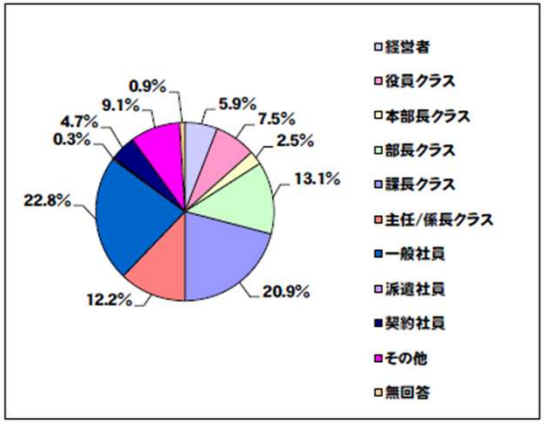
APPENDIX

開催実績 ： 2026年8月「AI-Readyデータ基盤構築術」②

▼役職 … 経営者・役員が約1割、部長以上が約3割

	件数	%
経営者	19	5.9%
役員クラス	24	7.5%
本部長クラス	8	2.5%
部長クラス	42	13.1%
課長クラス	67	20.9%
主任/係長クラス	39	12.2%
一般社員	73	22.8%
派遣社員	1	0.3%
契約社員	15	4.7%
その他	29	9.1%
無回答	3	0.9%
合計	320	

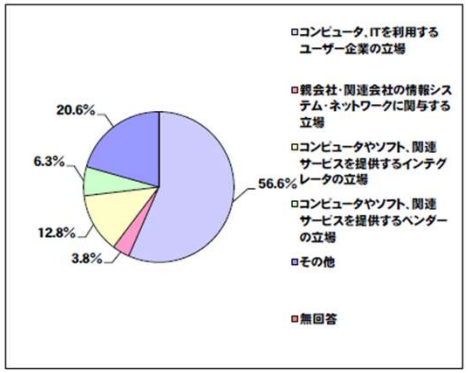
（ N= 320 ）



▼立場 … 約6割がユーザー企業

	件数	%
コンピュータ、ＩＴを利用するユーザー企業の立場	181	56.6%
親会社・関連会社の情報システム・ネットワークに関与する立場	12	3.8%
コンピュータやソフト、関連サービスを提供するインテグレータの立場	41	12.8%
コンピュータやソフト、関連サービスを提供するベンダーの立場	20	6.3%
その他	66	20.6%
無回答	0	0.0%
合計	320	

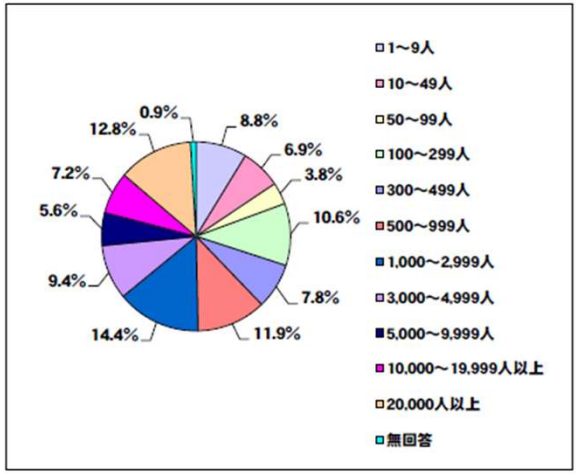
（ N= 320 ）



▼従業員数 … 約5割が1000名以上の大企業

	件数	%
1～9人	28	8.8%
10～49人	22	6.9%
50～99人	12	3.8%
100～299人	34	10.6%
300～499人	25	7.8%
500～999人	38	11.9%
1,000～2,999人	46	14.4%
3,000～4,999人	30	9.4%
5,000～9,999人	18	5.6%
10,000～19,999人以上	23	7.2%
20,000人以上	41	12.8%
無回答	3	0.9%
合計	320	

（ N= 320 ）



APPENDIX

開催実績：2026年3月「データサイエンティスト・ジャパン」①

--- 視聴者アンケート結果 ---

データサイエンティスト・ジャパン 2026
～AI-Readyデータで AIを価値創造のパートナーに～

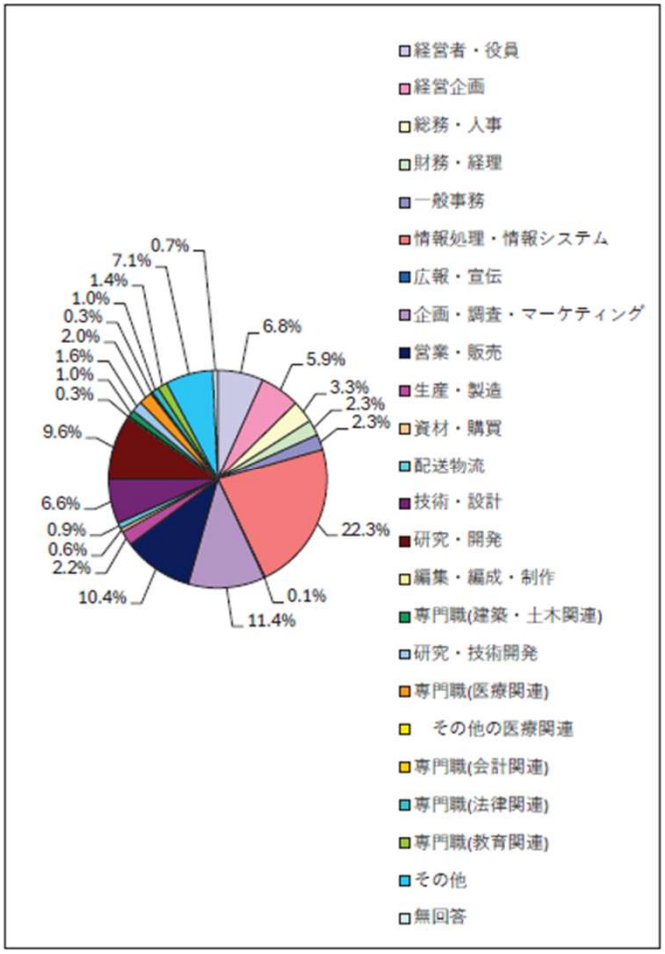
【 開 催 概 要 】

日　　時	2026年3月27日（金）10:00～16:55
開 催 形 式	オンライン
主　　催	日経クロステック
協　　力	日経コンピュータ
協　　賛	アドビ、博報堂、Minitab、 日本IBM（Apptio, an IBM Company）、 SAS Institute Japan、セールスフォース・ジャパン、 セールスフォース・ジャパン（旧 インフォマティカ・ジャパン） （ABC順）
参 加 料	無料（事前登録制）
視 聴 者	695名（事前登録者：1,065名）

▼職種

	件数	%
経営者・役員	47	6.8%
経営企画	41	5.9%
総務・人事	23	3.3%
財務・経理	16	2.3%
一般事務	16	2.3%
情報処理・情報システム	155	22.3%
広報・宣伝	1	0.1%
企画・調査・マーケティング	79	11.4%
営業・販売	72	10.4%
生産・製造	15	2.2%
資材・購買	4	0.6%
配送物流	6	0.9%
技術・設計	46	6.6%
研究・開発	67	9.6%
編集・編成・制作	2	0.3%
専門職(建築・土木関連)	7	1.0%
研究・技術開発	11	1.6%
専門職(医療関連)	14	2.0%
その他の医療関連	0	0.0%
専門職(会計関連)	2	0.3%
専門職(法律関連)	7	1.0%
専門職(教育関連)	10	1.4%
その他	49	7.1%
無回答	5	0.7%
合計	695	

（ N= 695 ）



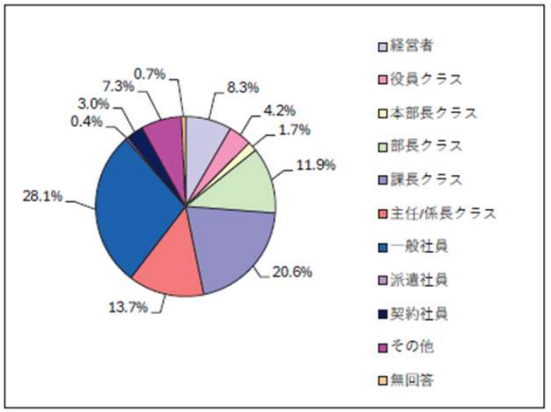
APPENDIX

開催実績 ： 2026年3月「データサイエンティスト・ジャパン」②

▼役職 … 経営者・役員が約1割、部長以上が約3割

	件数	%
経営者	58	8.3%
役員クラス	29	4.2%
本部長クラス	12	1.7%
部長クラス	83	11.9%
課長クラス	143	20.6%
主任/係長クラス	95	13.7%
一般社員	195	28.1%
派遣社員	3	0.4%
契約社員	21	3.0%
その他	51	7.3%
無回答	5	0.7%
合計	695	

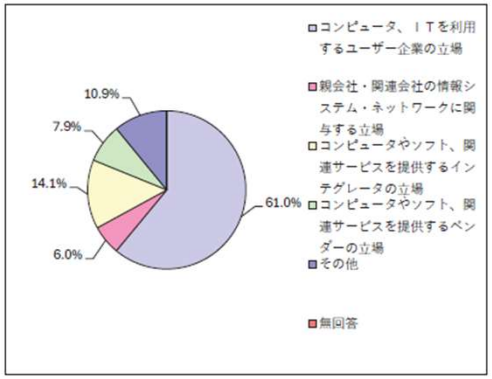
（N= 695）



▼立場 … 約7割がユーザー企業

	件数	%
コンピュータ、ITを利用するユーザー企業の立場	424	61.0%
親会社・関連会社の情報システム・ネットワークに関与する立場	42	6.0%
コンピュータやソフト、関連サービスを提供するインテグレータの立場	98	14.1%
コンピュータやソフト、関連サービスを提供するベンダーの立場	55	7.9%
その他	76	10.9%
無回答	0	0.0%
合計	695	

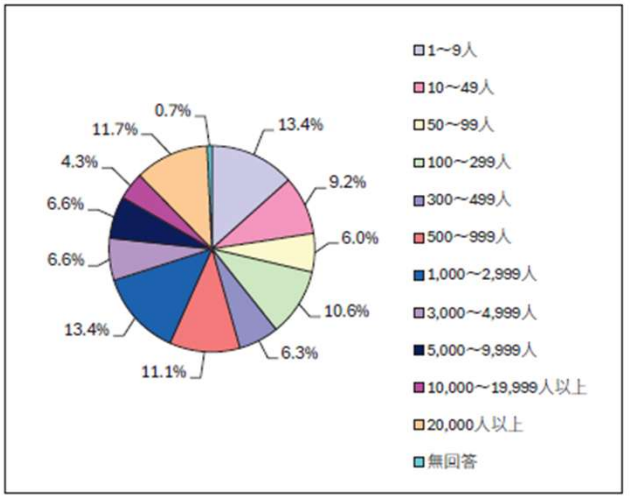
（N= 695）



▼従業員数 … 約4割が1000名以上の大企業

	件数	%
1～9人	93	13.4%
10～49人	64	9.2%
50～99人	42	6.0%
100～299人	74	10.6%
300～499人	44	6.3%
500～999人	77	11.1%
1,000～2,999人	93	13.4%
3,000～4,999人	46	6.6%
5,000～9,999人	46	6.6%
10,000～19,999人以上	30	4.3%
20,000人以上	81	11.7%
無回答	5	0.7%
合計	695	

（N= 695）



APPENDIX

日経BP・関連企画 2027年　スケジュール

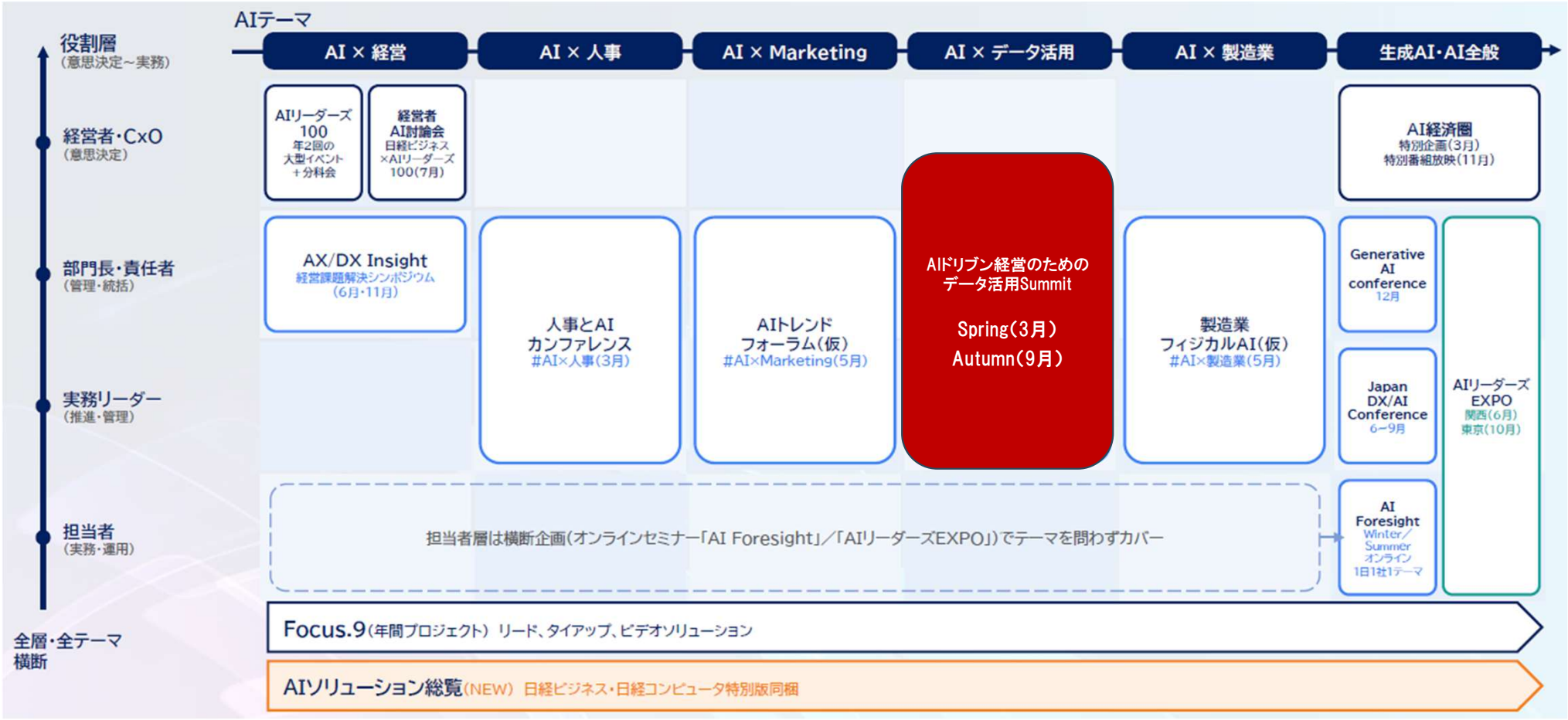


※2026年11月時点の予定です。変更になる場合があります。予めご了承ください

APPENDIX

日経BP・関連企画 2027年　テーマ別

▼ターゲットとテーマに応じて、さまざまな企画をお届けします



※2026年11月時点の予定です。変更になる場合があります。予めご了承ください